

精華町長 木村 要 様

精華町監査委員 船 戸 明

同 安 宅 吉 昭

平成 3 0 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された平成 3 0 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

第 1 審査の期間

令和元年 6 月 2 4 日から 7 月 2 4 日まで

第 2 審査の手續

町長から提出された決算諸表が、事業内容を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手續を実施した。また、地方公営企業法第 3 条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

第 3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績をおおむね適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、法令に従い、おおむね適正に処理されているものと認める。

第4 概況分析

当会計の決算の状況を概観する。国民健康保険病院については指定管理者制度（利用料金制）を採用しているため、当会計に医業収益は計上されない。当年度医業費用合計額は41,080千円であり、前年度より462千円（1.1%）減少している。主な増減は、経費の減少387千円であり、昨年度計上されていたアスベスト検査料194千円が当年度は計上されなかったことなどによるものである。また、医業費用のうち減価償却費は30,278千円であり、定額法を採用しているため、前年度（30,148千円）とほぼ同水準となっている。

一方、医業外収益には負担金交付金9,922千円や長期前受金戻入17,180千円等、合計27,892千円が計上され、前年度より1,845千円（6.2%）減少している。また、指定管理者である医療法人医仁会（以下、「指定管理者」）に例年どおり、平成30年6月に1億円を貸し付け、平成31年3月にその返済を受けている。利率は0.01%（前年度同率）であり、この貸付金により医業外収益に計上された受取利息は7,671円である。なお、後述するように、精華町国民健康保険病院の累積赤字が継続しており、当会計からの貸付期間以外の期間は指定管理者において金融機関から資金融通を受けている。

これらの結果、当年度純損失は13,189千円となり、前年度の純損失2,881千円より損失額は増加している。これは、前年度において固定資産台帳を精査したことによる特別利益と特別損失計上の影響があるためであり、その影響を除けば、前年度の損失は11,805千円である。

第5 補足意見

1 固定資産の管理について

年度途中に事業供用した固定資産の減価償却開始が翌年度となっている。減価償却という会計手法は固定資産の価値低下を時間の経過とともに認識するものであり、事業供用した時点から月割りで減価償却費を計上することが望ましい。なお、当年度取得固定資産の事業供用は、平成31年4月1日であり、当年度決算への影響はない。

また、償却完了資産について取得価額の10%（残存価額相当額）が資産計上されたままである。近年の企業会計では、法人税法の改正を受けて残存価額概念が廃止され、備忘価額1円まで減価償却を行っている。地方公営企業法施行規則においても、有形固定資産の償却限度額は、取得価額の5%と規定されており、同規則第15条第3項各号に該当する固定資産については、「その帳簿価額が1円に達するまで減価償却を行うことができる」と規定されている。

償却完了した固定資産には相当の年数が経過したものもあり、残存価額相当額を貸借対照表に計上し続けることの妥当性を検討する必要がある。

2 指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況について

指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況を概観する。

病床利用率は91.9%（前年度95.6%）と高い水準を維持しているものの、長期療養の患者数減少により前年度よりは低下している。患者数は入院が16,763人（前年度17,477人）と減少する一方、外来が歯科の伸び（当年度8,964人、前年度7,946人）などにより39,988人（前年度37,540人）と増加している。患者一人の一日あたりの診療収入は入院26,963円（前年度26,456円）、外来8,506円（前年度8,584円）となっている。これらの結果、収益面では、入院が451,976千円（前年度461,578千円）、外来が340,122千円（前年度322,249千円）、訪問リハビリなどのその他が46,790千円（前年度44,128千円）となっている。参考までに、平成18年度、平成23年度及び当年度の患者数は以下のとおりである。

（単位：人）

	平成30年度	平成23年度	平成18年度
入院患者数	16,763	17,283	8,297
外来患者数	39,988	27,952	25,815
合計	56,751	45,235	34,112

年度末現在の職員数をみると、医師は1名増えて7名となり、看護師26名（前年度28名）も含めた職員数は73名（前年度末74名）となっている。また、非常勤職員数について、医師は前年度末と変わらず22名、看護師18名（前年度末17名）など、合計59名（前年度末57名）である。医師や非常勤職員の増加により医業費用に含まれる給与費は618,556千円となり、前年度の604,818千円から13,738千円（2.3%）増加している。また、当年度から指定管理者は監査法人による監査を受けており、新たに退職給付引当金を計上している。その過年度分の引当額が特別損失に19,457千円計上されている。

以上の結果、当年度の医業利益は380千円（前年度は医業損失2,416千円）、当年度純損失は17,888千円（前年度1,127千円）となっている。主な数字の5年推移を以下に掲げる。こここのところ、医業収益は回復傾向にあるが、給与費負担の増加など医業費用も増加しており、損失計上が続いている。また、

上に述べた退職給付引当金計上の影響もあり、累積赤字が増加している。引き続き、その運営状況を検証していく必要がある。

なお、令和3年3月31日までは指定管理者による運営が続くことが確定している。その後の運営について、引き続き協議を行う必要があることは言うまでもないが、定例会合や各種分析、固定資産の現物確認など、当事者としての問題意識を持って対応していくことが必要である。

(単位：人、千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
入院患者数	16,763	17,447	17,426	17,063	17,365
外来患者数	39,988	37,540	35,685	35,821	35,608
医業収益	838,887	827,954	809,719	835,878	839,272
医業費用	838,507	830,370	813,467	803,468	801,958
医業利益	380	△2,416	△3,748	32,410	37,314
純利益	△17,888	△1,127	△2,321	36,338	39,206
累積赤字	△164,252	△146,363	△145,299	△142,977	△179,316

第6 決算の概要

1 予算執行状況について

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	28,203	27,892	△ 311	98.9
医業外収益	28,203	27,892	△ 311	98.9

収益的収入の決算額は27,892千円で、予算額28,203千円に対し、311千円の減、収入率は98.9%となっている。

イ 収益的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	41,348	41,081	0	267	99.4
医業費用	41,247	41,080	0	167	99.6
医業外費用	101	1	0	100	0.7

収益的支出の決算額は41,081千円で、予算額41,348千円に対し、267千円の減、執行率は99.4%となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 27,892千円

支出決算額 41,081千円

であり、収支差引13,189千円の赤字となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
資本的収入	110,000	108,116	△ 1,884	98.3
他会計負担金	10,000	8,116	△ 1,884	81.2
貸付金償還金	100,000	100,000	0	100.0

資

資本的収入の決算額は108,116千円で、予算額110,000千円に対し、1,884千円の減、収入率は98.3%となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

イ 資本的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	110,000	108,116	0	1,884	98.3
建設改良費	10,000	8,116	0	1,884	81.2
貸付金	100,000	100,000	0	0	100.0

資本的支出の決算額は108,116千円（執行率98.3%）で、予算額110,000千円に対し、1,884千円の減となっている。

建設改良費の決算額は8116千円で、採尿便所及び厨房職員便所改修工事に係る事業費である。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 108,116千円

支出決算額 108,116千円

であり、収支差引0円となっている。

2 経営成績等

(1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	
			金 額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	—
医業費用	41,080	41,541	△ 462	△ 1.1
医業利益	△ 41,080	△ 41,541	462	—
医業外収支				
医業外収益	27,892	29,737	△ 1,845	△ 6.2
医業外費用	1	1	△ 0	△ 0.3
医業外利益	27,891	29,737	△ 1,845	△ 6.2
経常利益	△ 13,189	△ 11,805	△ 1,384	—
特別損益	0	8,924	△ 8,924	—
特別利益	0	12,245	△ 12,245	—
特別損失	0	3,321	△ 3,321	—
純利益	△ 13,189	△ 2,881	△ 10,308	—

医業損益は41,080千円の損失で、前年度と比較して損失が462千円(1.1%)減少、医業外損益は27,891千円の利益で、前年度と比較して1,845千円(6.2%)減少している。この結果、経常損失は、13,189千円となり、前年度に比較して1,384千円損失が増加した。特別損益が発生しなかったことか

ら、純損失は13,189千円となった。

ア 収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	
			金 額	率
医 業 収 益	0	0	0	—
入院収益	0	0	0	—
外来収益	0	0	0	—
その他医業収益	0	0	0	—
医 業 外 収 益	27,892	29,737	△ 1,845	△ 6.2
受取利息及び配当金	8	8	△ 0	△ 0.0
国・府補助金	0	0	0	—
負担金交付金	9,922	10,385	△ 463	△ 4.5
長期前受金戻入	17,180	18,536	△ 1,357	△ 7.3
その他医業外収益	783	808	△ 26	△ 3.2
特別利益	0	12,245	△ 12,245	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
その他特別利益	0	12,245	△ 12,245	—
合 計	27,892	41,982	△ 14,090	△ 33.6

医業収益は、利用料金制により、指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生せず、医業外収益は27,892千円で、負担金交付金が463千円減少、長期前受金戻入が1,357千円減少した等により、前年度と比較して1,845千円（6.2%）減少した。

総収益は27,892千円で、前年度の41,982千円と比較して、14,090千円（33.6%）の減少となっている。

イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	
			金 額	率
医 業 費 用	41,080	41,541	△ 462	△ 1.1
給与費	9,134	9,266	△ 132	△ 1.4
経費	1,564	1,951	△ 387	△ 19.8
減価償却費	30,278	30,148	130	0.4
資産減耗費	103	176	△ 73	△ 41.3
研究研修費	0	0	0	—
医 業 外 費 用	1	1	△ 0	△ 0.3
支払利息及び 企業債取扱諸費	1	1	△ 0	△ 0.3
雑支出	0	0	0	—
特別損失	0	3,321	△ 3,321	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	0	3,321	△ 3,321	—
合 計	41,081	44,863	△ 3,782	△ 8.4

医業費用は41,080千円で、経費の減少等により、前年度と比較して462千円(1.1%)減少した。医業外費用は1千円で、前年度と比較して微減(0.3%)している。

総費用は41,081千円で、前年度の44,863千円と比較して3,782千円(8.4%)の減少となっている。

(2) 純利益額等の推移について

平成22年度以降の純利益(損失)額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支及び純利益(損失)額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益（損失）額推移表 (単位：千円)

区別 年度	純利益（損失）額	未処分利益剰余金	他会計からの繰入金
22年度	△ 35,466	△ 23,233	9,734
23年度	△ 24,452	△ 47,685	10,162
24年度	△ 26,288	△ 73,973	9,921
25年度	△ 26,677	△ 100,650	9,071
26年度	△ 14,662	256,106	9,638
27年度	△ 14,178	241,928	9,038
28年度	△ 13,231	228,696	9,953
29年度	△ 2,881	225,816	10,385
30年度	△ 13,189	212,627	9,922

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表（参考）

区別 年度	許可病床数	患者延数	1日平均 患者数	病床利用率	備考
22年度	50床 (18,250床)	16,758人	45.9人	91.8%	指定管理者 による運営
23年度	50床 (18,300床)	17,283人	47.2人	94.4%	
24年度	50床 (18,250床)	17,278人	47.3人	94.7%	
25年度	50床 (18,250床)	17,342人	47.5人	95.0%	
26年度	50床 (18,250床)	17,365人	47.6人	95.2%	
27年度	50床 (18,300床)	17,063人	46.6人	93.2%	
28年度	50床 (18,250床)	17,426人	47.7人	95.5%	
29年度	50床 (18,250床)	17,447人	47.8人	95.6%	
30年度	50床 (18,250床)	16,763人	45.9人	91.9%	

◎ 外来患者数推移表（参考） (単位：人)

区別 年度	患者総数	1日平均	内科	外科	小児科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
22年度	26,991	91	15,150	1,880	-	371	0	1,725	5,312	2,553	-	指定管理者 による 運営 ※平成25 年度以降 のリハビリ の患者 数は、整 形外科に おける患 者数の内 数です。
23年度	27,952	94	14,923	2,065	-	499	0	1,750	5,871	2,844	-	
24年度	27,729	94	14,187	2,132	-	470	0	1,794	6,252	2,894	-	
25年度	31,156	106	14,194	2,389	-	2,308	(905)	1,998	6,912	3,355	-	
26年度	35,608	121	15,742	2,631	-	3,474	(1,327)	2,299	7,125	4,337	-	
27年度	35,821	121	14,779	2,053	-	4,344	(2,142)	2,390	7,682	4,183	390	
28年度	35,685	121	14,694	2,112	-	4,708	(2,161)	2,461	7,544	3,757	409	
29年度	37,540	125	14,571	1,888	-	6,093	(3,354)	2,681	7,946	3,835	526	
30年度	39,988	137	15,084	2,636	-	5,961	(3,352)	2,658	8,964	4,166	519	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比（参考）

年度 区別	医業収益 (千円)	人件費		薬品費		人件費・薬品費計		備考
		金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	
22年度	667,996	480,299	71.9	49,174	7.4	529,473	79.3	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値とし、比率は、これら合算した金額に基づき算出した数値としています。)
23年度	710,893	512,396	72.1	53,865	7.6	566,261	79.7	
24年度	733,859	505,967	68.9	52,865	7.2	558,832	76.1	
25年度	787,410	539,737	68.5	64,363	8.2	604,101	76.7	
26年度	839,272	564,777	67.3	60,919	7.3	625,696	74.6	
27年度	835,878	581,948	69.6	57,792	6.9	639,740	76.5	
28年度	809,719	593,499	73.3	57,937	7.2	651,437	80.5	
29年度	827,954	614,084	74.2	58,156	7.0	672,240	81.2	
30年度	838,887	627,690	74.8	55,631	6.6	683,321	81.5	

◎ 医業収支と純利益（損失）額推移表（参考）

（単位：千円）

年度 区別	医業収益	医業費用	差引医業利益(損失)	純利益(損失)	備考
22年度	667,996	719,356	△ 51,360	△ 35,149	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値としています。)
23年度	710,893	757,206	△ 46,313	△ 34,190	
24年度	733,859	744,289	△ 10,430	△ 430	
25年度	787,410	792,816	△ 5,406	5,087	
26年度	839,272	842,168	△ 2,896	24,544	
27年度	835,878	843,931	△ 8,053	22,160	
28年度	809,719	854,650	△ 44,931	△ 15,553	
29年度	827,954	871,912	△ 43,958	△ 4,007	
30年度	838,887	879,587	△ 40,700	△ 31,077	